

公益社団法人埼玉県理学療法士会 平成 25 年度 第 5 回拡大理事会議事録

1. 日時:平成 25 年 11 月 19 日 (火) 19:00~21:30
2. 場所:大宮ソニックシティ 603 会議室
3. 出席者:
 - 会長-清宮
 - 副会長-岡持、原、解良
 - 理事-水田、本宮、渡邊 (雅)、矢野、細井、河合、原嶋、野田、栞原、飛田
 - 監事-田尻
 - 委員長・部長、他-武川、小峰、若松、瀧上、杉山、山崎、宮田、今野、渡邊 (賢)
神原、中俣、加藤 (太)、新井、加藤 (研)、小松、原田、白杵、渡辺
北村、古澤、櫻場、安本、河井、三宮、大沼、谷口、山田、高倉
須藤、工藤
 - 書記-鈴木、横谷、西尾、斉藤
 - 司会-清宮
4. 欠席者:望月、眞塩、田口、遠藤、大武、大和田、石田、吉川、山浦、杉浦、松野
井上、秋山、國澤、前園

【県士会活動報告/会長・副会長事業執行報告】

- 1-1-1 清宮会長 『三役活動報告』 *報告
三役から 9 月 17 日~11 月 17 日の活動が報告された。

【理事会等の年間スケジュール】

- 1-2-1 清宮会長 『事業実施日程表』 *報告
日程表通りと報告された。

【各部・局 審議/報告】

【事務局】

- 2-1-1 水田事務局長 『ML 審議報告』 *報告
8 月 23 日~11 月 5 日までの ML 審議について、報告された。

- 2-1-2 水田事務局長 『事務室不要物品廃棄について』 *審議
事務室の物品が多くなってきたため、不要物品 6 点を廃棄したいことと購入年月日は不明だが 10 年以上前のものであると説明された。
→承認

- 2-1-3 水田事務局長 『議事録について』 *審議
現在議事録の要約を会報・HP へ掲載しているが、要約だけでは詳細が分からず議事録が未公開のため後で確認ができない。修正案として、今後要約の作成をやめ、議事録を会報・HP へ掲載したいと説明された。
原田インターネット管理部長より、HP に掲載する議事録の容量はどのくらいか知りたい、

HP の容量は限りがあるため、対応出来るか分からないと意見が出された。
解良副会長より、今後容量が大きく使いやすいサーバーに変更することを検討しているため対応可能と思われるとの意見が出された。
原田インターネット管理部長より、現サーバーの容量でも1年分ほどの容量はあると思うが、容量次第では分からないためその点を考慮して欲しいとの意見が出された。
栞原南部ブロック理事より、議事録と議事録要約の違いが明確に分からないのだが、何が話し合われたかをきちんと示していくべきであるとの意見が出された。
清宮会長より、これを機会に議事録の書き方も改善し見やすくしていった方が良いが、具体的な改善点や容量について内容を見直し新たに提案して欲しいとの意見が出された。
→議事録と議事録要約の2つは不要、書き方は今後 ML で検討することで承認

2-1-4 水田事務局長 『後援依頼について』 *審議

埼玉県包括的リハビリテーション研究会から後援が依頼されたと説明された。
→承認

2-1-5 水田事務局長 『事務室デスクトップ PC 更新について』 *審議

事務室で使用しているデスクトップ PC が XP のため来年4月から使用できなくなる。リースの入替え費用を、今年度予算の事務所運営費から出したいと説明された。
→承認

2-1-6 水田事務局長 『三士会合同会議について』 *報告

三士会合同会議が平成25年10月31日に実施されたことが報告された。三士会で実施する研修会の講師料は PT のみの講習会の講師料と違い、決められていることが説明された。次回の会議は2月である。

2-3-1 武川庶務部長 『庶務部活動報告／事務室・機器使用状況』 *報告

水田事務局長より、平成25年9月～10月の庶務部活動報告と事務室・機器使用状況について報告された。

2-3-2 武川庶務部長 『会員動向』 *報告

水田事務局長より、10月30日現在、会員数は3435名であることが報告された。

2-6-1 瀧上厚生部長 『会員懇親会補正予算案について』 *審議

平成25年12月8日の埼玉県理学療法学会終了後に開催予定の会員懇親会について説明があった。今回は学会運営と合同で開催予定のため、参加者増(去年までは60～70名、今年は120名程度を予想)が予想される。よって現予算案に10万円増額した補正予算について検討して欲しいと提案が出された。
→承認

2-6-2 瀧上厚生部長 『事業報告』 *報告

第26回埼玉県士会・東京都士会合同ゴルフコンペ大会が、平成25年10月20日に実施さ

れたことが報告された。

【財務局】

3-2-1 山崎出納部長 『出納部活動報告』 *報告

本宮財務局長より、平成 25 年 9 月～10 月の出納部活動報告がされた。

3-2-2 山崎出納部長 『年度末決算とりまとめの変更点について』 *報告

山崎出納部長より、年度末決算とりまとめの変更点について説明があった。従来より 1 ヶ月早く監査が行われるため、提出期限が早まり 2 月末日となること、郵送で提出する領収書などは上尾事務室宛とすること、メールでの出納簿提出や資料の再提出が必要な場合は出納部長宛とすることが説明された。

3-2-3 今野財務渉外部長 『税金に関すること』 *報告

本宮財務局長より、講師料の規定を配布すると報告があった。

3-3-1 本宮財務局長 『会費未納者数について』 *報告

10 月末日時点での会費未納者数について報告された。3 年間未納し退会となる者は 30 名、名簿を回覧するため目を通すよう説明があった。

【事業局】

4-2-1 渡邊（雅）事業局長 『ケアマネジメント研修会 事業計画・予算案』 *審議

平成 26 年 2 月 1 日のケアマネジメント研修会開催について説明があった。

→承認

4-2-2 渡邊（雅）事業局長 『介護予防事業研修会 事業計画・予算案』 *審議

平成 25 年 12 月 3 日の介護予防事業研修会開催について説明があった。必要となる備品の購入の審議提出もされた。

岡持副会長より、予算の範囲内かと質問があった。

渡邊（雅）事業局長より、もともと DVD 作成に当てる予定の額を備品購入に当てた。研修会の都度備品を調達するのが大変なため、購入し保管しておきたいとの返答があった。

清宮会長より、保管場所はどうするかと質問があった。

渡邊（雅）事業局長より、事務室か部長が管理するのではどうかと返答があった。

岡持副会長より、事業局以外の部局で使っても良いかと質問があった。

清宮会長より、事務室にひとまとめで管理し、使いたい部局には事務室から郵送してはどうかと意見が出された。

杉山労務管理部長より、備品台帳を作成するのかと質問があった。

清宮会長より、今回の備品を 1 セットとし、全てバッグに入れれば 10 万円程度の価値のため備品登録が可能だろうと意見が出された。

杉山労務管理部長より、台帳などで各部局に周知しておかなければ、備品の存在が分からず結局使うことができないのではないかと意見が出された。

解良副会長より、県士会活動の事業で使用できるようにリストにして新しい HP へ掲載して

はどうかと意見が出された。

清宮会長より、事務室に保管することは良いと思うが、備品の扱いについては税理士と相談して検討すると意見が出された。

→承認

4-2-3 渡邊（雅）事業局長 『介護老人保健施設研修会 事業計画・予算案』 *審議
平成26年2月22日の介護老人保健施設研修会開催について説明があった。

野田西部ブロック理事より、対象者・対象地域はどう決めているのかと質問があった。

渡邊（雅）事業局長より、埼玉県介護老人保健施設協会のブロックに合わせて順番に持ち回っていると説明があった。

→承認

4-2-4 渡邊（雅）事業局長 『介護保険サービス事業者支援事業（訪問介護員リハビリ研修会） 事業計画・予算案』 *審議

平成26年2月16日の介護保険サービス事業者支援事業について説明があった。

清宮会長より、対象はどう決めているのかと質問があった。

渡邊（雅）事業局長より、東西南北のブロックを順番に開催しており、その中でエリアを絞って開催していると説明があった。

→承認

4-3-1 渡邊（雅）事業局長 『健康増進部一般公開講座 事業企画案と予算案の承認について』 *審議

平成26年1月18日の健康増進部一般公開講座における企画案について説明があった。

岡持副会長より、広報はダイレクトメールなのか郵送なのかと質問があった。

渡邊（雅）事業局長より、郵送だが業者に依頼しているのでダイレクトメールと記載していると説明があった。

→承認

4-3-2 渡邊（雅）事業局長 『健康増進部事業の変更について』 *審議

一昨年まで「ヘルシーフロンティア埼玉県民会議」に参加しポスター展示を行ってきたが、ポスター展示企画が行われなくなったため、参加を中止したい。代替事業として健康増進部ニュースレターを発行し、保健センターなど各部署に配布したいと説明があった。

清宮会長より、依頼執筆料の予算は妥当な額なのかと質問があった。

原副会長より、一般的な学術誌であれば原稿は5万円ほどであると意見があった。

清宮会長より、執筆を依頼する対象者は会員か会員外かと質問があった。

渡邊（雅）事業局長より、誰に依頼するかは未定であると返答があった。

原副会長より、印刷物があらゆる場所に置かれることは士会活動をアピールできるため良い事業ではないかと意見が出された。

解良副会長より、ニュースレター自体の印刷代はいくらであるかと質問が出された。

渡邊（雅）事業局長より、A3表裏で200部コピーするため4万円の予算をとっていると返答があった。

栞原南部ブロック理事より、プリントパックで注文すると A4 1 枚 10 円位となるため、それも検討してはどうかと意見が出された。

岡持副会長より、印刷物の内容を確認できた方が良いとの意見が出された。

渡邊(雅) 事業局長より、原稿内容はメールで確認できるよう検討するとの返答があった。

清宮会長より、予算が余ったら枚数を増やすよう意見があった。

→承認

4-3-3 渡邊(雅) 事業局長 『健康増進専門職公開講座 事業企画案と予算案の承認について』 *審議

平成 26 年 2 月 22 日の健康増進専門職公開講座における企画案について説明があった。

解良副会長より、講師料 2 万 3 千円となっているが確認したいとの意見が出された。

渡邊(雅) 事業局長より、決算上は 22,274 円だが、端数を省いて表示していると説明があった。

→承認

4-4-1 渡邊(雅) 事業局長 『発達障害児・者研修会について』 *審議

発達障害児・者研修会の講師を越谷市児童発達支援センターの木村幸代氏として県に報告したいと説明があった。三士会に加え臨床心理士会、臨床発達心理士会も共催で事業を実施することとなった。

→承認

4-4-2 渡邊(雅) 事業局長 『こどもの福祉機器体験、講演会について』 *報告

こどもの福祉機器体験、講演会が、平成 25 年 10 月 6 日に実施されたこと、当日東松山のケーブル TV が取材に訪れ、TV に放送されたことが報告された。

4-4-3 渡邊(雅) 事業局長 『通園施設職員のための研修会について』 *審議

平成 26 年 2 月 16 日の通園施設職員のための研修会について説明があった。他団体との共催事業であるため、講師の選定のみ行った。

→承認

4-5-1 渡邊(雅) 事業局長 『スポーツ関係者のための研修会』 *審議

平成 26 年 2 月 2 日のスポーツ関係者のための研修会について説明があった。昨年参加者が集まらなかったため、今回は近隣の戸田スポーツセンターや地域に積極的に宣伝を行っている、と説明があった。

→承認

【学術局】

5-2-1 中俣学術局編集部長 『平成 25 年度の雑誌「理学療法 - 臨床・教育・研究」の印刷部数について』 *報告

今年度の印刷部数は 3600 部を予定していると報告があった。

雑誌「埼玉理学療法」第 1~12 巻を国会図書館に納本した。事務室にも各 1 冊ずつ保管し

ておきたいが、9巻が無いため寄贈して欲しいとの説明があった。

【教育局】

6-2-1 細井教育局長 『平成 25 年度教育局研修部 研修部員について』 *報告
加藤（太）研修部長より、平成 25 年度研修部員 10 名について報告があった。

6-4-1 加藤（研）臨床実習教育部長 『平成 25 年度 研修会企画』 *審議
平成 26 年 1 月 18 日の第 20 回臨床実習教育部研修会開催について説明があった。
→承認

6-4-2 加藤（研）臨床実習教育部長 『平成 25 年度 研修会企画』 *審議
平成 26 年 2 月 23 日の第 21 回臨床実習教育部研修会開催について説明があった。
清宮会長より、講師が県外の方なので、講師料・旅費を再確認するよう意見があった。
→承認

【広報局】

7-4-1 望月広報局担当副会長 『理学療法週間企画について』 *審議
河合広報局長より、平成 26 年度の理学療法週間に、イオンレイクタウンのイベントスペースにて、一般県民を対象に広報活動を行いたい旨について説明があった。今年度予算から前金 5 万円を支払っており、現在仮予約の段階だが、日程は 3 月中に確定する予定である。
渡邊（雅）事業局長より、来年の件であるが、今年度の事業で行うのかと質問があった。
清宮会長より、来年度の予算案に計上することになるが、日程を決めるために今年度中に審議をする必要があると意見が出された。日程が決定したら、再度審議を出すよう意見があった。
→承認

【職能局】

8-2-1 岡持職能局長 『管理者ネットワーク会議の報告』 *報告
管理者ネットワーク会議が、平成 25 年 8 月 29 日と 9 月 19 日に実施されたことが報告された。

【ブロック 審議/報告】

9-1-1 原嶋東部ブロック理事 『平成 25 年度東部ブロック啓発活動について』 *審議
平成 25 年 12 月 1 日の東部ブロック啓発活動の企画について説明があった。
細井教育局長より、良い企画なので来年度以降は啓発活動を広報局や各ブロックで実施するのではなく、まとめて実施するのはどうかと意見が出された。
原田インターネット管理部長より、発信するだけでなく、今後県民からの問い合わせに対応する問い合わせ先の資料をまとめる必要もあるのではないかと意見が出された。
清宮会長より、意見も踏まえて来年度以降の事業を再検討していきたいとの意見が出された。
→承認

9-1-2 原嶋東部ブロック理事 『平成 25 年度東部ブロック第 3 回中央エリア研修会について』 *審議

平成 26 年 2 月 12 日の東部ブロック第 3 回中央エリア研修会について説明があった。

→承認

9-1-3 原嶋東部ブロック理事 『平成 25 年度 第 27 回地域リハビリテーション研修会』 *報告

平成 26 年 2 月 8 日の第 27 回地域リハビリテーション研修会について報告があった。

解良副会長より、県民や一般を対象にした講演だと周知に時間がかかるように感じるので、できれば早めに企画を決め、早めに宣伝できるよう準備をして欲しいと意見が出された。

9-2-1 野田西部ブロック理事 『西部ブロック公開講座』 *審議

平成 26 年 2 月 16 日の西部ブロック公開講座について説明があった。終了後、対象者にアンケートをとる予定だが、採点方式ではなく記述式のアンケートにするとの説明があった。清宮会長より、講師にもアンケートをとる旨を伝え、結果もフィードバックするようとの意見が出された。

→承認

9-3-1 栗原南部ブロック理事 『平成 25 - 26 年度南部ブロック運営委員について(追加)』 *報告

平成 25 - 26 年度ブロック運営委員 8 名の追加が報告された。

9-3-2 栗原南部ブロック理事 『南部ブロック事業報告 (9 月 1 日～10 月 31 日実施分)』 *報告

平成 25 年 9 月～10 月の南部ブロック活動報告がされた。ブロック研修会は平成 25 年 9 月 17 日に第 1 回、10 月 9 日に第 2 回が実施された。

9-3-3 栗原南部ブロック理事 『南部ブロック研修会 I の講師料変更と決算報告の修正』 *審議

講師料を昨年度の規定で支払ったため、今年度の規定に則り不足分の支払いをしたいと説明があった。

細井教育局長より、事業局では新しい講師料で運営しているが、すでに予算案が理事会で承認されていたため問題ない。他の部局では改定前の講師料で予算案を計上しているため、改定前の金額となっており混在しているとの意見が出された。

清宮会長より、今年度は予算を通っているものはそのままの講師料で、これから審議を出すものは新しい講師料の計算をするよう意見があった。

→承認

【委員会 審議/報告】

10-6-1 高倉公益社団法人検討委員長 『公益社団法人移行祝賀会報告』 *報告

公益社団法人移行祝賀会が、平成 25 年 9 月 15 日に実施されたと報告があった。

10-6-2 高倉公益社団法人検討委員長 『2013 年度の事業計画』 *審議

公益社団法人への移行事業終了に伴い、委員会の解散をしたいと説明があった。また、各事業計画を行う際には、埼玉県理学療法士会員のみの対象は公益ではないので、公益事業であるのかよく検討するよう意見があった。

→承認

10-7-1 解良学会評議員会 『第 24 回埼玉県理学療法士学会（平成 27 年度）の開催日について』 *報告

平成 27 年度埼玉県理学療法士学会の日程が平成 27 年 11 月 29 日（日）に決まったことが報告された。

10-9-1 井上第 49 回日本理学療法全国学術研修大会準備委員長 『第 49 回日本理学療法全国学術研修大会準備委員会第 5 回会議について』 *報告

清宮会長より、第 5 回会議が平成 25 年度 10 月 1 日に実施されたと報告があった。

10-9-2 井上第 49 回日本理学療法全国学術研修大会準備委員長 『第 49 回日本理学療法全国学術研修大会準備委員会 静岡引継後会議について』 *報告

清宮会長より、静岡引継後会議が平成 25 年 10 月 5 日に実施されたと報告があった。

10-9-3 井上第 49 回日本理学療法全国学術研修大会準備委員長 『第 49 回日本理学療法全国学術研修大会準備委員会 第 32 回関東甲信越ブロック理学療法士学会広報活動後会議について』 *報告

清宮会長より、広報活動後会議が平成 25 年 11 月 3 日に実施されたと報告があった。

【その他】

その他① - 1 解良副会長 『県内外への情報発信方法に関する包括的検討 WG について』 *審議

WG で検討した結果について、以下の説明があった。定期便を徐々に廃止しメールを使った情報発信に切り替える。メールにはファイルを添付できないため、新しい情報が入ったことだけ伝え、具体的な情報は HP に掲載する。HP 内容の充実、部員の労務軽減を図るため、HP 作成を業者へ委託する必要がある、業者を選定している。

杉山労務管理部長より、具体的に定期便の発送をどのように減らすのかと質問があった。解良副会長より、月 2 回を 1 回にすることから始め、代わりにメールアドレスを登録してもらい個人宛にメールを送るとの返答があった。

杉山労務管理部長より、施設の全員がメール登録していなくても、一定の割合メールを登録していれば定期便を中止するなどの決まり事を作るのかと質問があった。

解良副会長より、まずメール登録を促し、登録状況にもよるが期間を決めて一斉に中止するとの返答があった。

清宮会長より、切替えの期間はどのくらい必要と考えているかと質問があった。

解良副会長より、おそらく1年は必要と思われる。定期便よりもメールの方が早く情報が届くという点を会員に理解してもらう必要があるとの返答があった。

清宮会長より、今後のタイムスケジュールをWGで検討してもらいたいとの意見が出された。

解良副会長より、郵送費用は1回7万円であり、HPだと初期導入費用が60万程かかるがランニングコストは安価なので、最終的に郵送よりも費用が抑えられるとの説明があった。

細井教育局長より、現行のHPを変更するメリットは何かと質問が出された。

解良副会長より、個人宛メールはテキストデータでないと配信できないため、詳細を掲載するHPをより充実させることが必要である。現在部員1人が管理しており、情報掲載までに時間がかかるが、HPを変更すると各部局が手元のPCやスマートフォンから操作できるため、情報発信のスピードアップと分担が可能である。お問い合わせフォームも使いやすくなる。管理を業者に委託するため、我々が本来の仕事に集中できる、と説明があった。

臼杵業務推進部長より、既存の登録されたメールアドレスはどうなるのかと質問があった。

原田インターネット管理部長より、そのまま移行可能であると返答があった。

三宮熊谷エリア長より、メールをブロックの会員だけに送るという使い方もできるのかと質問があった。

解良副会長より、技術的な話なので断定できないが、業者と相談すると返答があった。

細井教育局長より、他の士会でHPからの情報発信がうまくいっている例はあるかと質問があった。

解良副会長より、神奈川、東京などで行っているようだが、詳細は調査すると返答があった。

→HPの変更について承認

その他②-1 解良副会長 『新人プログラム履修対策について』 *審議

新プロ履修率が全国最下位のため、履修できない原因を調査するために現在の履修状況を分析し、理事会で提案することを考えていると説明があった。個人情報が入らないよう、氏名、生年月日は削除し、施設名は数値化する予定である。

谷口坂戸エリア長より、データだけでなく、会員からなぜ履修しないのかの生の声も聞いて両面から分析した方が良いとの意見が出された。

細井教育局長より、データ解析をする前に、何に利用するかを具体的にしておいた方が良いとの意見が出された。

解良副会長より、調査後の方向性は4つ考えているが、データの活用の仕方は理事会で検討したいとの返答があった。

細井教育局長より、新人教育部と連携すべき点が多数出てくると思われるとの意見が出された。

解良副会長より、今年度中に調査データを解良副会長が解析し、理事会へ提示することを目標とし、それをどう活用していくか来年度検討するとの返答があった。

→承認

その他③-1 望月副会長 『平成26年度からの研修会参加費の規定について』 *審議

清宮会長より、平成26年度以降、県士会会員の研修会参加費を無料にしてはどうかと提案があった。

栗原南部ブロック理事より、区分は日本理学療法士会の会員ではなく、埼玉県士会の会員とする事で良いのかと質問があった。

清宮会長より、県士会会員の会費で行う研修なので、県士会会員かどうかで区分して良いだろうと返答があった。

細井教育局長より、県士会会員かどうかの確認は自己申告で行っていたが、今後もそうするのかと質問があった。

解良副会長より、カード受付であれば、県士会会員外の人を判別可能ではないかと意見が出された。

清宮会長より、今後大きな研修から徐々にカード受付になっていくだろうが、当面は自己申告で判断するのはやむを得ないと意見が出された。

本宮財務局長より、会費未納の人はどうなるかと質問が出された。

飛田北部ブロック理事より、会員番号が記載されている人は会員と考えるので、北部では番号の有無で判断していると意見が出された。

→会員は無料にすることを承認

清宮会長より、会員外の参加費を決めたいとの説明があった。

矢野学術局長より、1日一律の値段の場合、新人教育プログラムでは1日1単位の時も5単位の時もあるため、単位数によって値段を変える方法も案に出したと説明があった。

渡邊（雅）事業局長より、県士会の会員を増やすことが目的なら、会員外の値段を上げた方が効果的という考えもあると意見が出された。

清宮会長より、新人教育プログラムは県外からの参加者も多い、反対に埼玉から県外に受講しに行くことも多いため、研修部やブロック研修会とは切り離して考えた方が良いと意見が出された。

解良副会長より、企画や当日の受付が煩雑にならない方が良いとの意見が出された。

高倉公益社団法人検討委員長より、公益性からすると収益がプラスになりすぎるのは良くないとの意見が出された。

→具体的な値段はMLで検討する

会長 印

監事 印

監事 印